

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター

第 18 回地域防災計画実務者セミナー

日時 平成 24 年 10 月 1 日（月）～3 日（水）

場所 京大時計台記念館 2 階 国際交流ホールⅢ

1 日目（10 月 1 日）

（鈴木） 今年も地域防災計画実務者セミナーにお越しくださいまして、誠にありがとうございます。第 18 回地域防災計画実務者セミナーを始めます。

まず初めに、主催者の林春男教授からご挨拶申し上げます。

開会の挨拶

林 春男（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授）

今年はどうなことをするつもりか、紹介します。参加メンバーを見て、これは 3 年くらい先にやればよかったかなと内心で反省しています。自治体のご参加が例年に比べると少ないですが、結構な人数が来ているのは、随分と内輪で盛り上がっている証拠でしょう。

去年起こった 3.11 は、ある意味で非常に革命的な災害でした。なぜかという、インターネットの活躍が非常に目覚ましかったからです。これからの災害対応はインターネットを中核に据えていかなければ立ち行かないと思うようになりました。

地域防災計画実務者セミナーは地方自治体の防災担当者がターゲットですから、地方自治体の防災担当者がそれをいかにして身に付けていくのかという意味で、非常に重要な災害になったと思います。今回はいろいろなご縁を通して、インターネットの世界の皆さん、防災の皆さんが集まってくれるということで、この 3 日間でいろいろ勉強しようと思います。

インターネットの一つ目の強さは、革命を起こしたことだと思っています。どのような革命かという、情報の発信権の解放です。20 世紀にマスメディアの時代になったとき、情報を受ける権利が解放され、誰でも情報に接することができるようになりました。新聞があり、ラジオがあり、テレビがあり、今、私たちが当たり前で暮らしている社会が出来

上がってきたわけです。しかし、それでも情報の発信を担うのは、昔風に言えば権力者に限られているはずでした。ですから、昔は革命を起こすときに放送局と飛行場を襲うことが鉄則だったわけです。しかし、今、放送局を襲っても何の意味もありません。むしろ、放送局を襲わないからリビア、エジプトがひっくり返ったわけです。ジャスミン革命は、誰もが情報発信できるようになったことによって起こったものだと考えられています。

これには非常に大きな意味があります。防災関係機関は、今までは虚像でやってこられました。民間のかなりの有力な人物も、行政には情報があると思っていました。しかし、実はなかったのです。これはみんなが知っていることです。逆に言うと、圧倒的に多量で質の高い情報が、非常に早く民間から出されます。その中で行政は何をしなければいけないか、あらためて問われています。

その相手はソーシャルメディアと言われているものです。これはまだ揺籃期にあるので玉石混交ですが、非常に大きなポテンシャルを持っています。ソーシャルメディアは防災担当者の敵ではありません。むしろ味方としてどう活用していくのかを考えなければいけません。

それから、二つ目の強さとして、クラウドの力があります。今まで情報システムは持つものでしたが、これからはサービスとして利用するものに移行するでしょう。今までは一部の自治体しか持てなかったものを誰もが使えるようになっていくという、底辺の拡大が起こります。

それから、今までは、ある計算機を扱える人がみんなのことを思って使うときに「オープンソース」と言っていました。しかしソースを見ても分からない人の方が多いので、これからは誰もが必要なものを手に入れられるような「オープンアクセス」の時代になっていくだろうと思います。

クラウドの力を生かして、もう一つ大変すごいと思ったのは、G 空間情報の力です。G 空間情報とは、地理情報という意味です。しかし、ただの地理情報ではありません。GPS と GIS の二つの力により、自分が今いる位置がいつでも電子地図上に反映される時代になってきています。つまり、スマホでできることが当たり前になったということです。昨年からは WebGIS はいろいろなところで使用できるようになっています。それを通して、誰もがいろいろな情報をマッシュアップ、自分の好きなように加工することができるようになりました。

以上の大きな変化があった中で、これからはいよいよインターネットを中核に置き、防

災体制そのものと情報システムの在り方を考え、それを使ってどのような災害対応をサービスとして提供していくのかということを考えていかなければいけません。今回の実務者セミナーには、それを考える上で最適な方々に来ていただきました。今日と明日の2日間で、最前線にいる皆さんの話を聞いていただきます。3日目は、実際に WebGIS とはどのようなものなのか、皆さん自身で実証してもらうことを企画しています。ぜひ3日間、いろいろ学んでください。